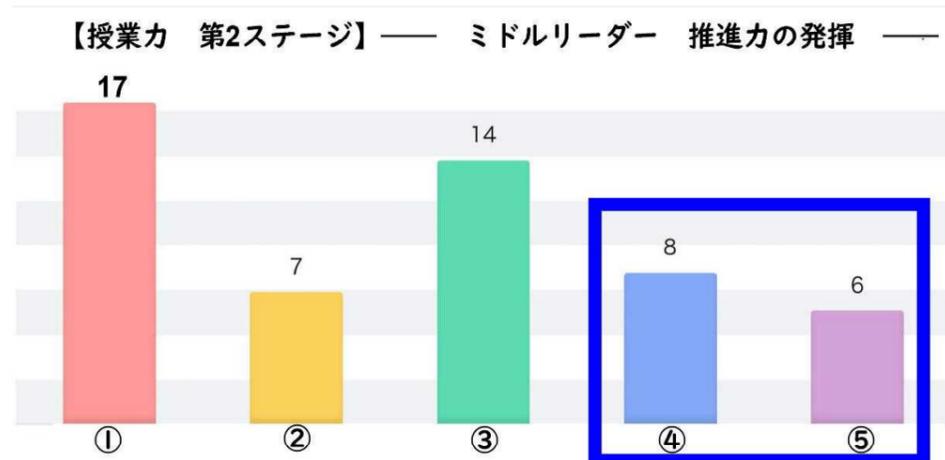
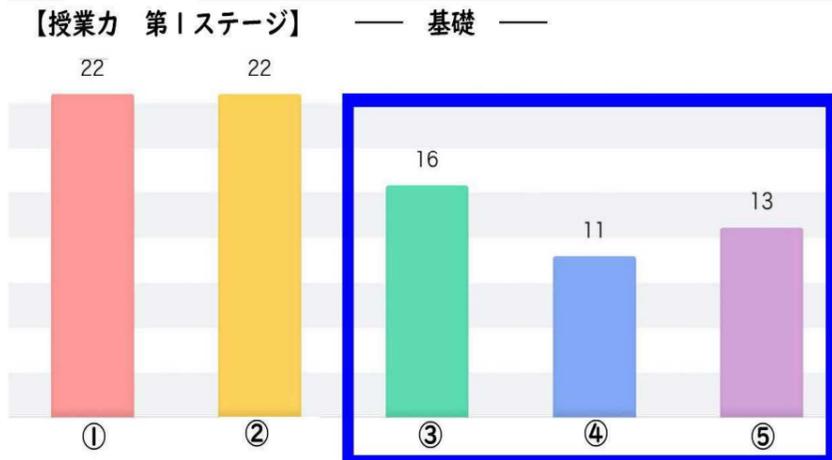
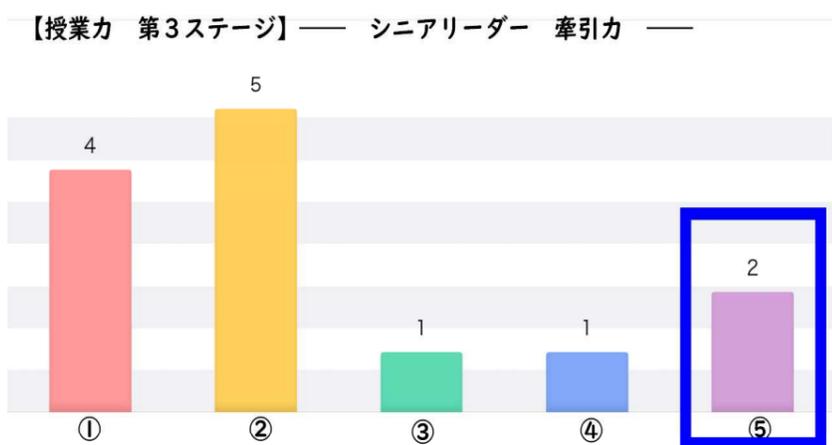


●学校経営4本柱 ①授業力が向上する主題研究体制の構築 について 教員アンケートの結果より 評価B



- ① 授業のねらいを明確にしている
- ② 児童の実態を捉えている
- ③ 児童が問題意識をもつように適切な発問をしている
- ④ 児童が考えを深めたり思考を整理したりできるように板書をしている
- ⑤ 児童の課題追究を支える環境を構成している

- ① 授業改善、指導力向上に努めている
- ② 他の教師に、児童の実態の捉え方や授業の進め方について適切な助言をしている
- ③ 児童の身近な社会・生活につながるような授業・単元の構想が工夫できる
- ④ 児童が考えを深めたり思考を整理したりできる授業や単元を構想し、実践を積み重ねている
- ⑤ 児童の課題追究を支える意図的な環境の構成をしている



- ① 学年や教科の授業改善をリードしている。
- ② 児童の実態を捉えて組織的に実践を進めることができる。
- ③ 高い専門性を基に、周りにある教育資産や新しい指導方法を効果的に取り入れて授業や単元を構想している。
- ④ 他の教員の模範となる授業実践や単元構想をしている。
- ⑤ 児童の課題追究を支えたり引き出したりする意図的な環境の構成をしている

: 主題研究のテーマに関連する質問を表す

- 1 数値の分析
 - (1) 第1ステージ

目標：全体（担任24名 専科2名 日本語1名 計27名）のうち、7割の職員（19名）が「できる」と答える

分析：板書に大きな課題があるので板書の仕方を学ぶ場を設ける
 - (2) 第2ステージ

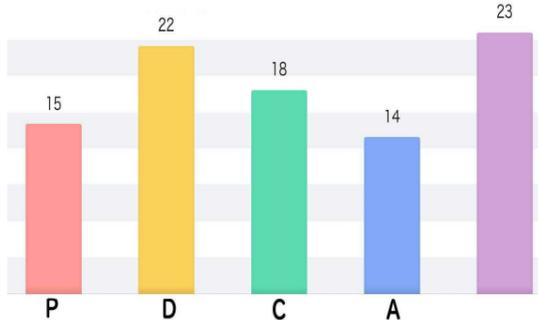
目標：30歳以上の教員のうち3割（7名）が「できる」と答える

分析：学習の足跡がわかる模造紙掲示や教材展示はできているが効果的な活用はまだ伸びる余地がある。
 - (3) ステージ3

目標：50代の教員うち、1人は「できる」と答える

分析：ベテランが後進を育てる場を設け、技を磨いていく。
- 2 教員アンケートの振り返り
 - ・「サラダでげんき」の物語を適切な発問で楽しく読み進め、りっちゃんのサラダを家でも作りたいという思いにつなげた。【1-③】
 - ・電子黒板で校内の虫の画像を示し、虫のすみかを予想できるように導いたため虫との関わり方が変わった子が多かった。学習が終わった後も、虫に目を向け、大切にできているのがよかった。【2-④】
 - ・総合で行った「コロナばいばい大作戦」や算数の資料の調べ方の単元など、「対話的な学び」を意図的に設け、新たな気づきに導いた。【2-④】
 - ・「体力を高めた」という子どもからの思いからオリジナルサーキットを考える活動の中で魅力的な教具を準備した。【2-⑤】
 - ・ゴミステーション等の見学でゴミ問題を身近に捉え、問題意識を持たせた。また、授業の最後に「この後どうする？」と尋ねることで学習意欲を高めた。その思考の流れを整理して模造紙にまとめ、教室に掲示し、一人一人が意見をもって、授業に参加することができた。【3-⑤】

●学校経営4本柱 ②目標管理による学年・学級経営 について 教員アンケートの結果より 評価B

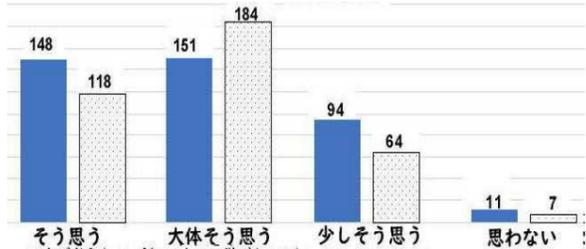


- P：卒業時の姿をみすえて今の児童の実態に合わせた学級経営の方針を立てている。
 D：学級内における良好な人間関係づくりを行っている。
 C：学級目標を風化させないよう、学級経営を見直している。
 A：学級経営の工夫・改善をすることで授業の質を高める学級となっている。
 紫：学年主任や他の教員と協力しながら学年経営に参画している。
- 1 数値の分析

目標：7割の職員（19名）が「できる」と答える

分析：日頃から児童と真剣に向き合った学級経営をしているが、目標管理に課題がある。卒業時の姿を描き、学年末の具体像を教師間、児童、保護者と共有していく。
 - 2 教員アンケートの振り返り
 - ・学年目標は、どの場面でも活用でき、子どもたちも「どの力を頑張ろうかな」と目標を立てやすかった。具体的には挨拶の実施が飛躍的に伸びた。全教職員の共通理解・協力が実を結んだ。

●学校経営4本柱 ③児童の主体的な活動を育む支援体制の強化 について 子どもアンケートの結果より 評価A



- ①授業の中で、考えたい、話し合いたい、もっと学びたい と思いますか
 - ②問題や課題に出会ったとき、自分から解決策を考えてがんばることができますか
- 1 数値の分析

目標：4年～6年の児童の7割（282名）が「そう思う」「大体そう思う」と答える

分析：①（299名）74% ②（302名）75%の児童が「そう思う」「大体そう思う」と答えた
 - 2 子どもアンケート振り返り
 - ・自分たちからキャンペーンを考えてやっている。
 - ・自分で決めたことは絶対あきらめない、がんばるという姿がステキだと思います。
 - ・学級訓の意味に向かってやっている。

●学校経営4本柱 ④地域の方々と共に地域愛を育む教育活動の構築 について 教員アンケートの結果より 評価B



- 左(黄)：児童が地域の素材を感動的に学べるように授業・単元の構想を工夫している。
 中(緑)：地域学習について情報発信すると共に地域資源の活用を推進している。
 右(青)：学校全体の地域学習の課題を把握し、単元構想や授業づくりについて改善の視点で考え、提案している。
- 1 数値の分析

目標：左(黄)については、9人以上、残りについては1人以上

分析：魅力的な地域素材の活用は評価できるが、その活動内容の情報発信に課題が残る。HP等を活用する。
 - 2 教員アンケート振り返り
 - ・まち協等との関わりを授業で多く取り入れた結果、感謝の心をもちあいさつしよう意識する児童が多く見られる。